

私の仕事は、“誇り”を生み、“愛着”を育てる仕事。

福岡市住宅都市局地域まちづくり推進部都市景観室推進係
江崎さん（行政事務）

皆さん、「福岡市都市景観賞」をご存知ですか？

福岡市都市景観賞とは、福岡のまちの魅力を創りだしている建物や活動などを表彰するもので、昭和 62 年から開催し、今年で 28 回目を迎えます。
これまでの受賞作品は 209 件。受賞作品のほとんどは市内に現存しているので、本物をその目で直に見ることができます。

HPに掲載している専用アプリをダウンロードしていただくと、福岡市内の地図上で、受賞作品の写真、位置、経路等を確認することができます。受賞作品を、徒歩、自転車、バス、地下鉄など使い、1日でいくつもの作品を見て回ることができ、福岡のまち歩きやインスタ映えするスポット巡りにとても便利です。
こんなことができるのも、福岡市が“コンパクトシティ”の特徴を備えた都市だからこそだと思います。

※ 都市景観賞ホームページ(こちらから、都市景観賞専用アプリダウンロードができます。)
http://www.city.fukuoka.lg.jp/jutaku-toshi/toshikeikan/fukuoka_keikan/prize.html

第 27 回 大賞 「水上公園 SHIP'S GARDEN」



この事業は、豊かな自然と悠久の歴史に培われた福岡らしい風格ある美しいまちなみを形成するため、一人でも多くの市民の皆さんに景観について関心を持ってもらうことを目的としています。

美しいまち、風格のあるまちなみは、福岡を訪れる人々に感動を与え、また福岡を訪れたいとの気持ちにさせます。

第26回 大賞 「警固公園」



もしかしたら、この福岡らしいまちなみに惹かれ、ここに住みたいと思う人もいるかもしれません。

もちろん来訪者のためだけではありません。
自分が暮らすまちが美しくゆとりがあり
居心地の良い空間になれば
どんなにすばらしいことでしょう。

また、自分の暮らすまち、故郷を、
「きれいなまちだね」「うらやましい」なんて
言われたら、うれしいですね。



第26回 市民賞「あいたか橋」

自分が暮らすまちが誇りになる。
誇れるまちだから愛着が沸く。

愛着がある自分のまち、
だからこそ自分たちでつくっていく、
守っていく。

この事業を通じ、皆さんに
そんな風に感じてもらえたら
やりがいがあります。



第27回 活動賞「博多ライトアップウォーク」

市内にお住まいの皆さんは身近すぎて気づいていないかもしれません。

でも、福岡らしい素敵な景観は、すぐそばにあります。

意識してみてください。たったそれだけで、あなたの中に誇りが生まれ愛着が育ちます。

これが私の仕事です。

都市景観室の皆さん



○ 江崎さん（行政事務）

平成4年入庁後、水道局，総務企画局，東区役所，博多区役所，公益財団法人スポーツ協会で勤務
平成27年度から福岡市住宅都市局都市景観室にて都市景観賞を担当

1 今までの配属先で記憶に残る職場は？

博多区地域振興課です。

各種スポーツ大会やどんたく演舞台の運営などは企画から携わることができ、新しい試みに挑戦したときやスムーズな運営ができたときは、心から達成感を味わうことができました。

何より、地域の方々と同じ目標に向かって一緒に作り上げていく過程は私にとってかけがえのない経験でした。

また、博多区に関する伝統工芸（博多人形や博多織など）の歴史や体験をとおして博多区の歴史や文化を知ってもらい、地域への愛着心を育むことを目的に実施していた「博多区伝統工芸教室」も印象深い業務のひとつです。

区内の小学校4年生を対象に授業の一環で、職人さんのお話や実演、博多人形や博多独楽、博多張子の絵付けなど体験してもらいました。

子どもたちのキラキラした表情や自分の作品を大事に胸にかかえ下校する姿は忘れることはできません。

2 働くうえで気を付けていること、大切にしていることは？

何をするにも、「何のために」やっているのかを意識するようにしています。

そこがわからない、あやふやだ、自信がない場合は、まず上司や先輩に確認し共通認識を持ったうえで取り組むようにしています。

スタートから誤った方向を向いてしまうと時間の無駄ですから。



